

# 令和8年度 入札・契約、総合評価の実施方針(案) 〔工事〕

令和7年度実施状況(参考データ)

令和8年3月10日



国土交通省 関東地方整備局

# 目次

1. 令和7年度の入札・契約の実施状況	2
2. 令和7年度の総合評価落札方式の実施状況	7
3. 参考資料(R8変更点)	17

# 1. ①入札・契約方式の実施状況

- 令和7年度は、約80%の工事を一般競争で実施。
- 不調・不落が見込まれる案件においては施工体制の確保を図るために公募型指名競争入札方式を実施。
- 近年、関東地方では大きな災害が発生していないことからフレームワークモデル工事の活用が減少しているため、指名競争の割合は約15%となっている。

(契約金額: 百万円)

	R 4			R 5			R 6			R 7 (R7. 12月末時点)		
	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額
一般競争	779	74.7%	303,714	718	76.3%	231,108	791	80.2%	214,761	484	79.2%	134,980
指名競争	217	20.8%	32,728	161	17.1%	22,767	127	12.9%	16,438	89	14.6%	13,646
随意契約	47	4.5%	16,188	62	6.6%	94,096	68	6.9%	132,726	38	6.2%	36
合計	1,043	100%	352,629	941	100%	347,971	986	100%	363,926	611	100%	148,663

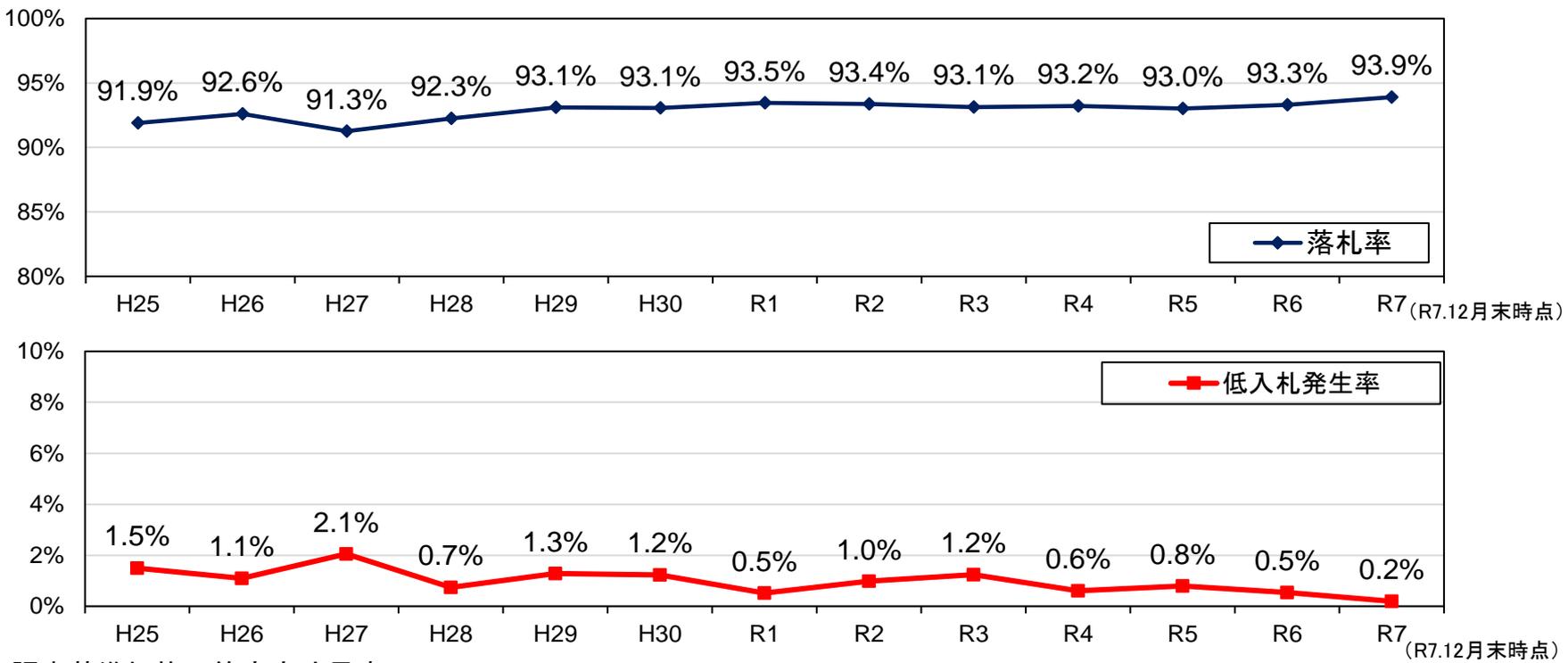
※250万円未満の工事を除く

※指名競争は公募型指名競争入札及びフレームワークモデル工事にのみ適用。

※随意契約には、特命随契のほか、不調随契を含む。

# 1. ②落札率・低入札発生状況

○落札率は、近年93%台で推移しており、令和7年度は**93.9%**。  
 ○低入札による契約率は、近年1.0%以下で推移しており、令和7年度は**0.2%**。



参考：調査基準価格の算定方法見直し

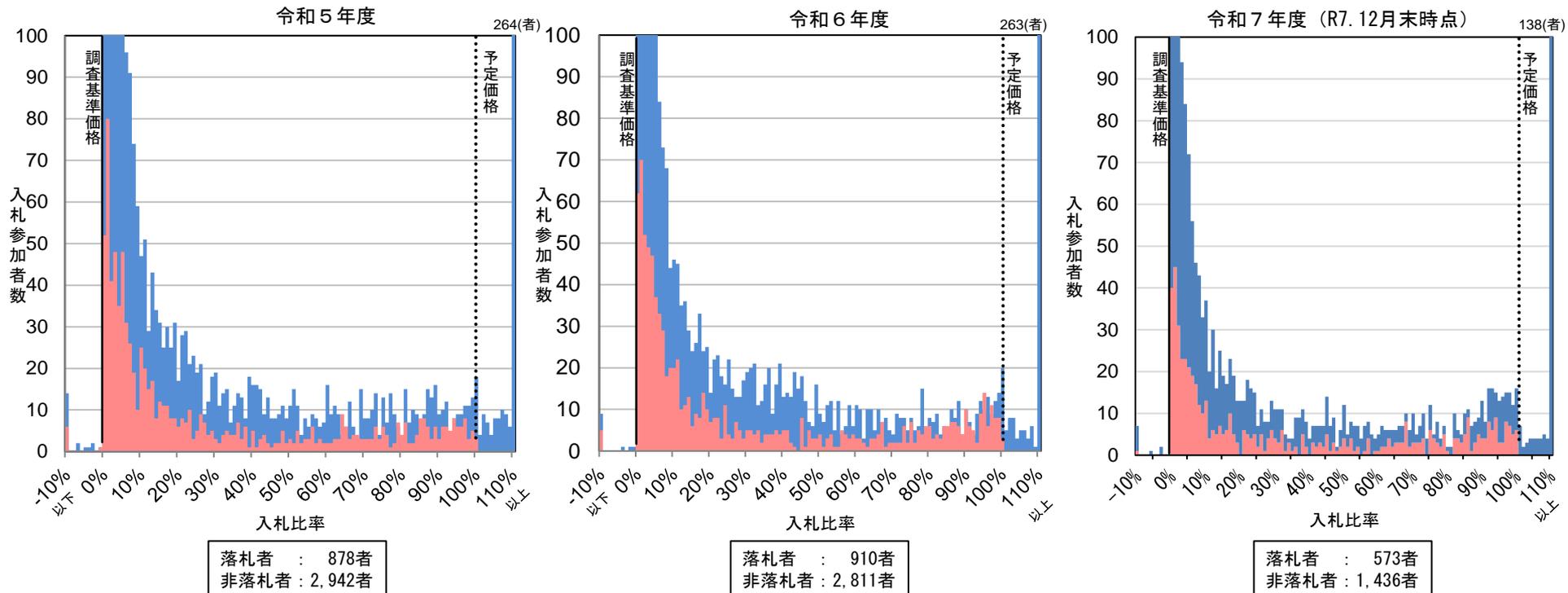
	H25	→	H28	→	H29	→	R1	→	R4
①直接工事費	95%	→	95%	→	<u>97%</u>	→	97%	→	97%
②共通仮設費	90%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
③現場管理費	80%	→	<u>90%</u>	→	90%	→	90%	→	90%
④一般管理費	<u>55%</u>	→	55%	→	55%	→	55%	→	68%
【範囲】	<u>7.0/10~9.0/10</u>					→	<u>7.5/10~9.2/10</u>		

※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く  
 ※250万円未満の工事を除く

# 1. ③入札比率の分布

(R7. 12月末現在)

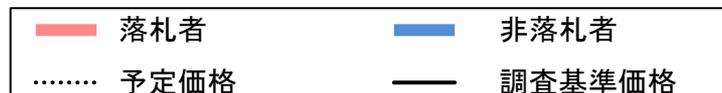
○ 入札比率の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向は変わらない。



## 【入札比率の算出方法】

$$\text{入札比率} = \frac{\text{入札額} - \text{調査基準価格}}{\text{予定価格} - \text{調査基準価格}}$$

## 【凡例】

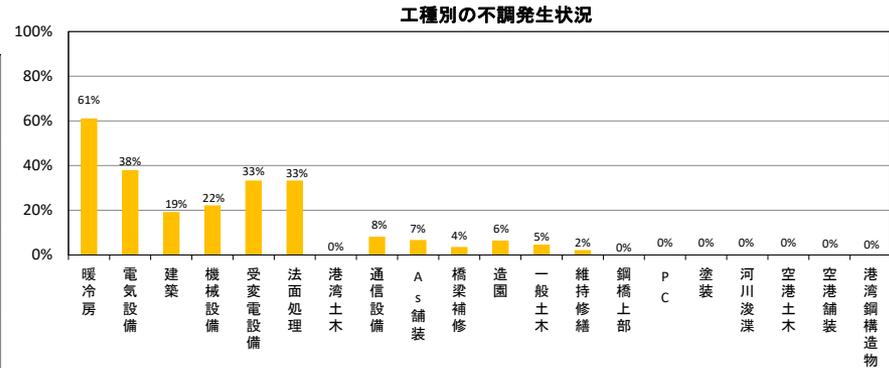
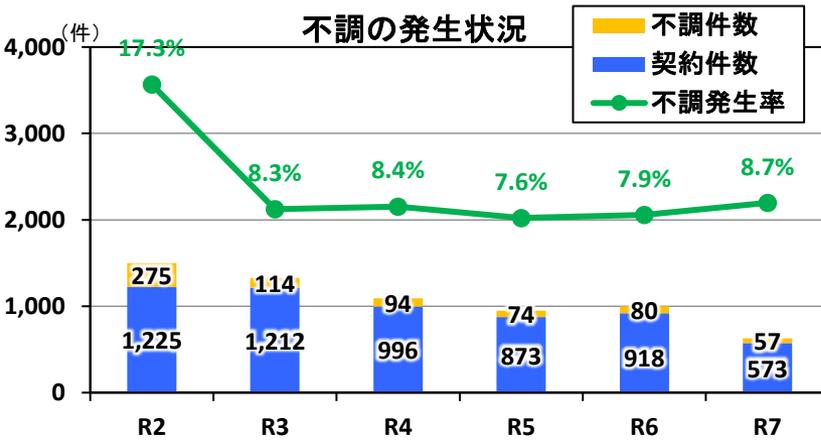


※一般競争、指名競争を対象  
 ※250万円未満の工事を除く  
 ※随意契約を除く

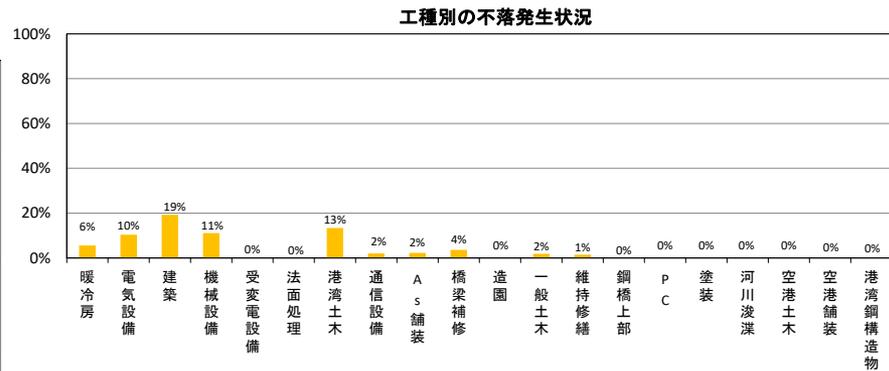
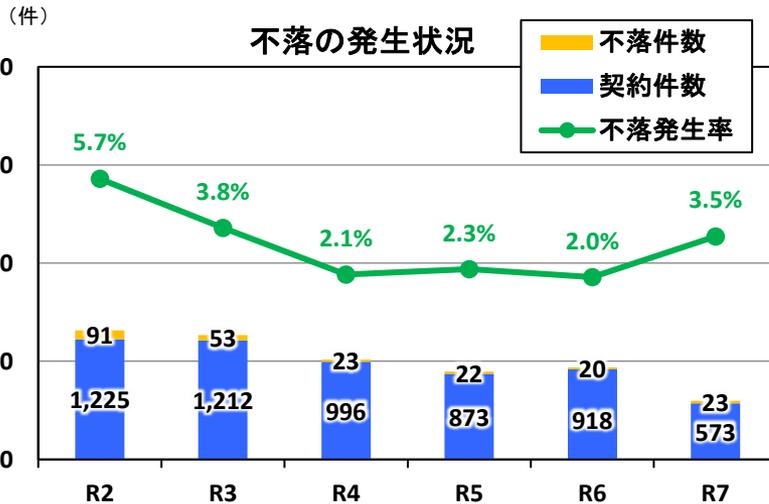
# 1. ④不調・不落発生状況

(R7. 12月末現在)

- 令和7年度の不調発生率は**8.7%**。令和2年度以降、8%前後で横ばいながら、令和7年度は上昇した。
- 令和7年度の不落発生率は**3.5%**。令和4年度以降、2%前後であったが、令和7年度は上昇した。
- 工種別では、建築および建築設備関連(暖冷房、電気)で高い傾向にあり、対策を進めるが必要。



	暖冷房	電気設備	建築	機械設備	受変電設備	法面処理	港湾土木	通信設備	As舗装	橋梁補修	造園	一般土木	維持修繕	鋼橋上部	PC	塗装	河川浚渫	空港土木	空港舗装	港湾鋼構造物	木造建築	Co舗装	プレハブ建築	港湾浚渫	計
発注件数	18	29	26	9	9	6	30	49	45	28	31	214	136	6	2	2	4	3	4	2	0	0	0	0	653
不調件数	11	11	5	2	3	2	0	4	3	1	2	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57



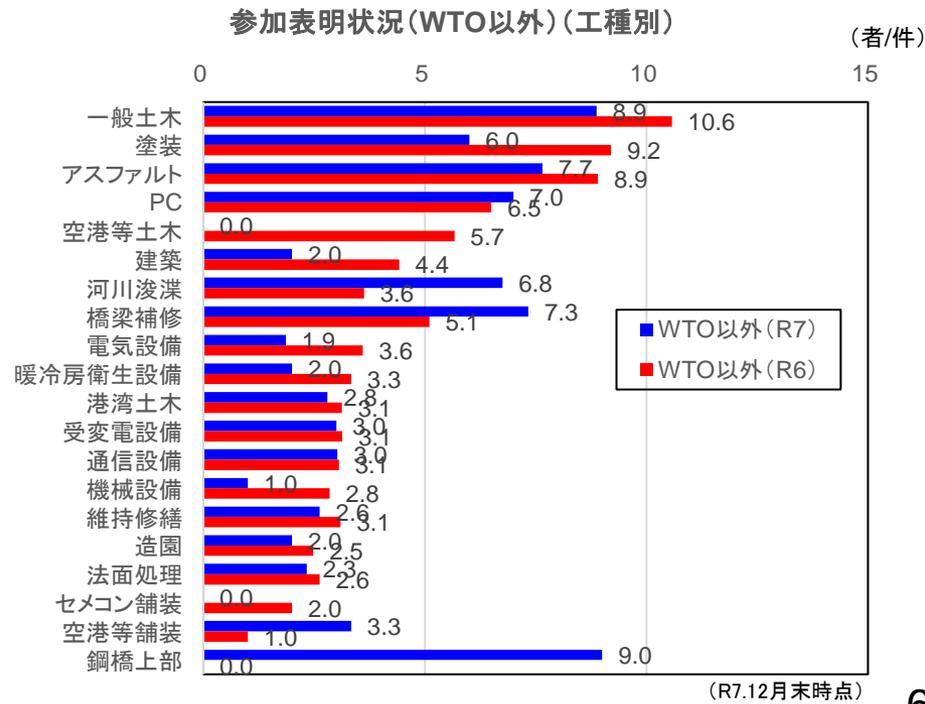
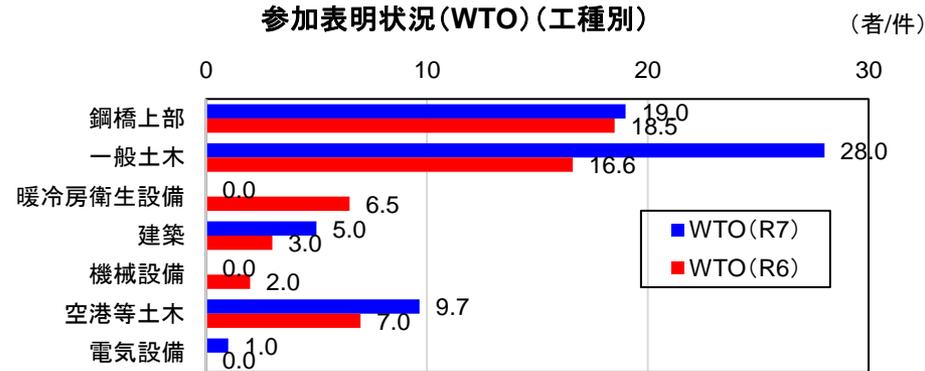
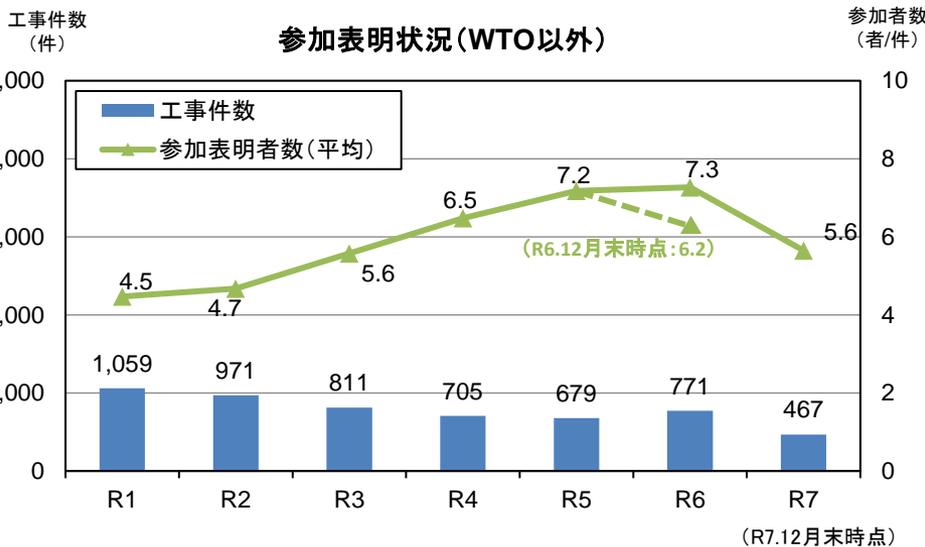
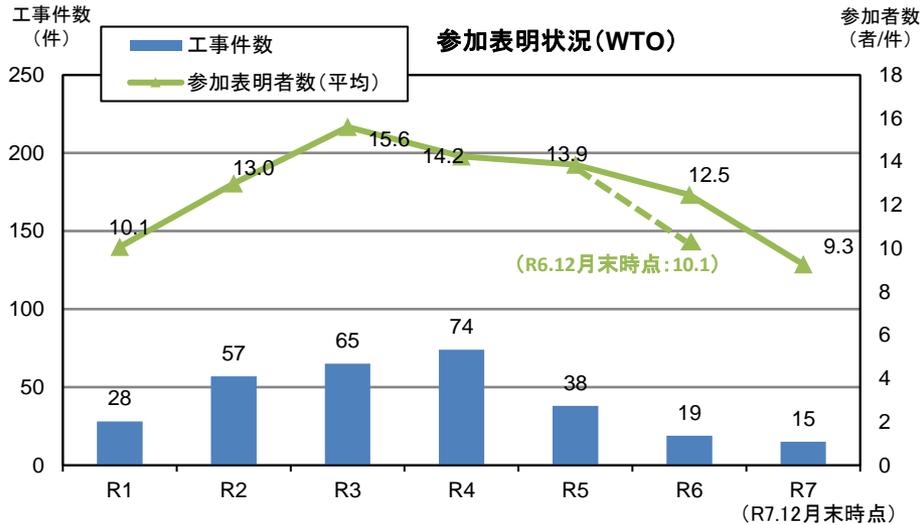
	暖冷房	電気設備	建築	機械設備	受変電設備	法面処理	港湾土木	通信設備	As舗装	橋梁補修	造園	一般土木	維持修繕	鋼橋上部	PC	塗装	河川浚渫	空港土木	空港舗装	港湾鋼構造物	木造建築	Co舗装	プレハブ建築	港湾浚渫	計
発注件数	18	29	26	9	9	6	30	49	45	28	31	214	136	6	2	2	4	3	4	2	0	0	0	0	653
不落件数	1	3	5	1	0	0	4	1	1	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23

※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く ※250万円未満の工事を除く

# 1. ⑤参加表明者の状況

(R7. 12月末現在)

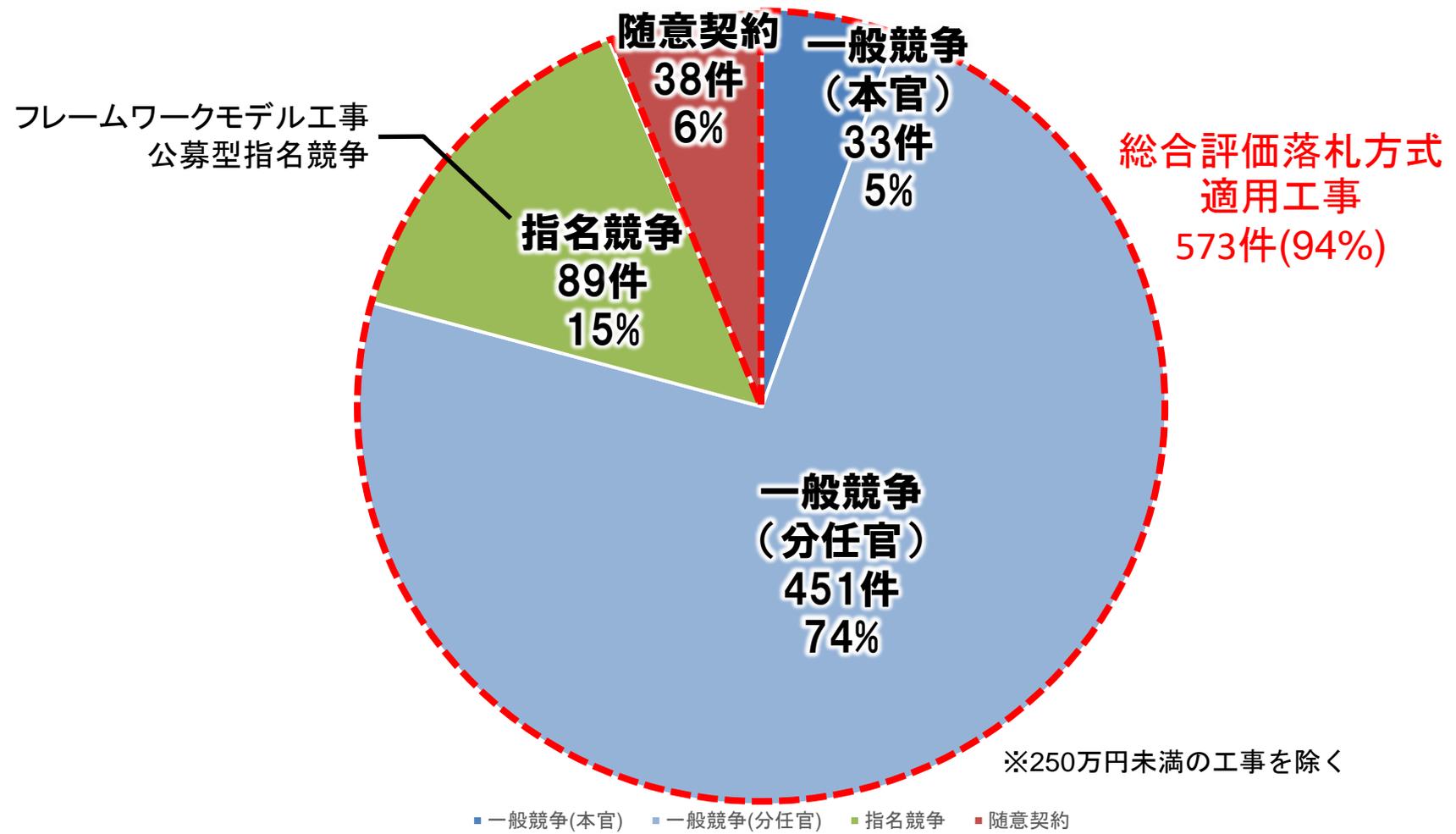
○令和7年度契約工事の平均参加表明者は、WTO対象工事で9.3者、WTO対象工事以外で5.6者であり、競争性が確保されている。



※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

○令和7年度の全契約工事のうち、随意契約を除く全ての工事で総合評価落札方式を適用。

令和7年度工事契約件数 (R7.12月末時点)  
611件

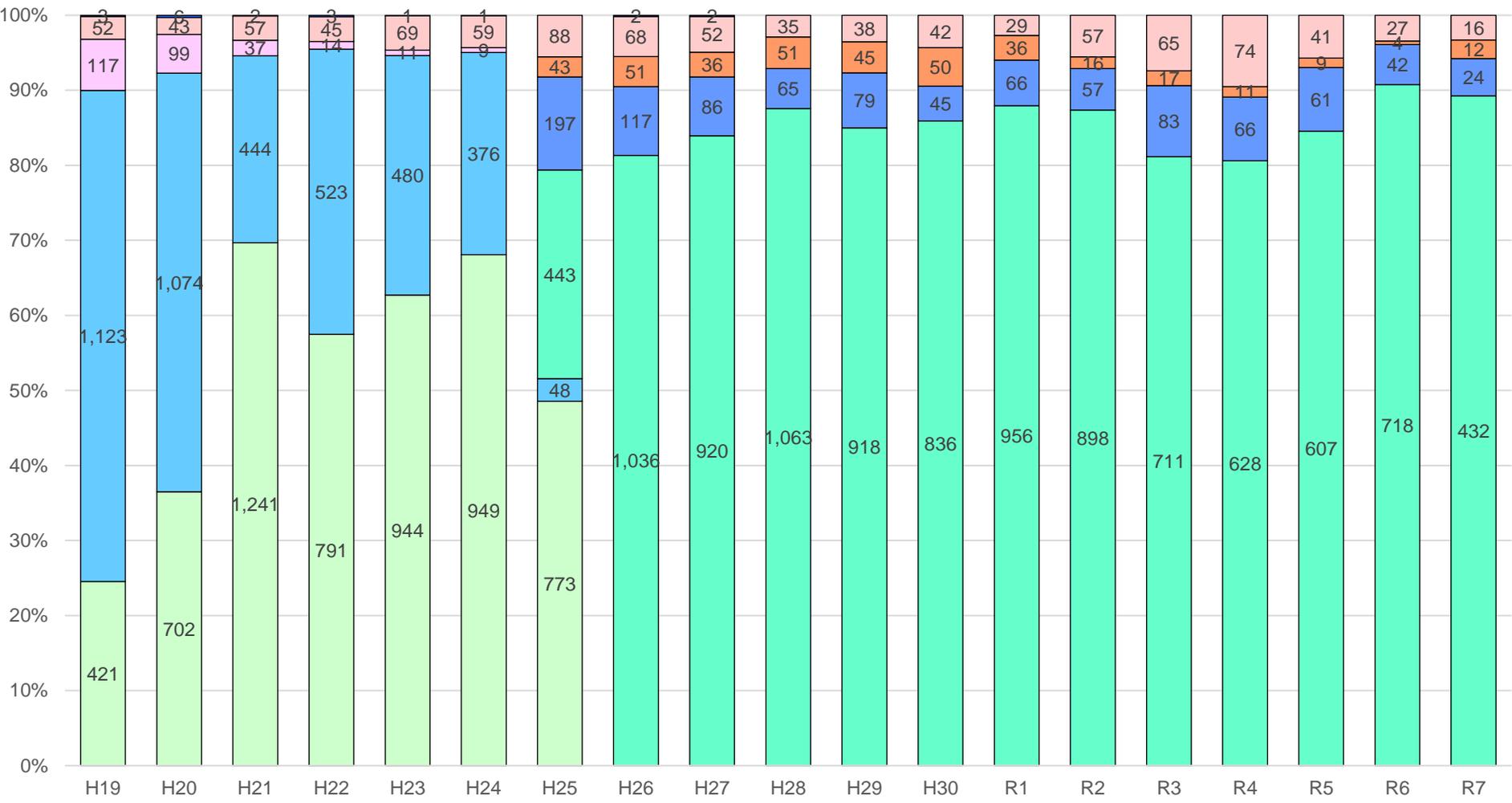


# 2. ②総合評価落札方式の実施状況

(R7. 12月末現在)



- 施工能力評価型が約95%、技術提案評価型を約5%の割合で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型が全体の約90%を占めている。



- 簡易型
- 施工能力評価型Ⅱ型
- WTO標準型・技術提案評価型S型(WTO)
- 標準Ⅱ型
- 施工能力評価型Ⅰ型
- 技術提案評価型A型
- 標準Ⅰ型
- 技術提案評価型S型(WTO以外)

※R7の件数は、R7.12月時点の件数

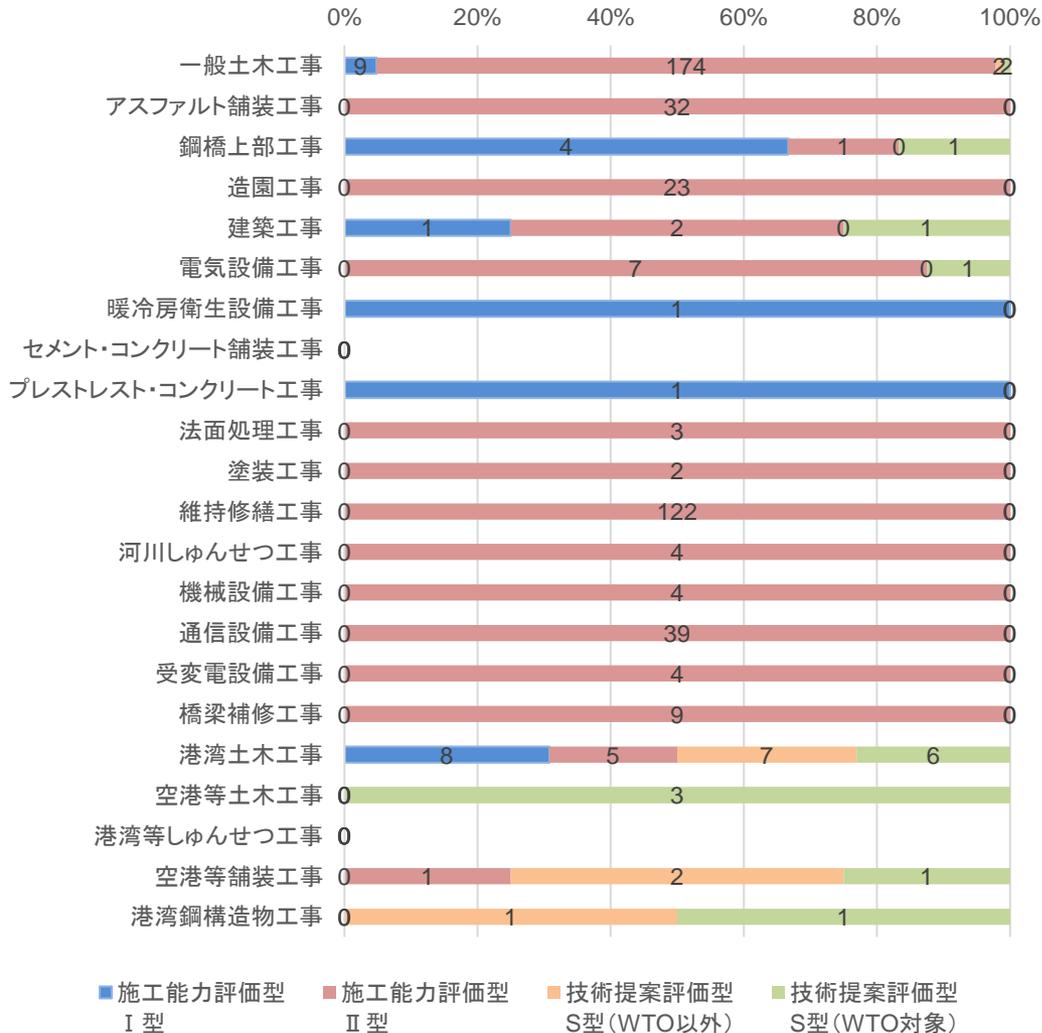
※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

## 2. ③総合評価落札方式の実施状況

(R7. 12月末現在)

- 施工能力評価型が約95%、技術提案評価型を約5%の割合で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型が全体の約90%を占めている。

(R7.12月末時点)



工事種別	施工能力評価型Ⅰ型	施工能力評価型Ⅱ型	技術提案評価型S型(WTO以外)	技術提案評価型S型(WTO対象)	合計
一般土木工事	9	174	2	2	187
アスファルト舗装工事		32			32
鋼橋上部工事	4	1		1	6
造園工事		23			23
建築工事	1	2		1	4
電気設備工事		7		1	8
暖冷房衛生設備工事	1				1
セメント・コンクリート舗装工事					
プレストレスト・コンクリート工事	1				1
法面処理工事		3			3
塗装工事		2			2
維持修繕工事		122			122
河川しゅんせつ工事		4			4
機械設備工事		4			4
通信設備工事		39			39
受変電設備工事		4			4
橋梁補修工事		9			9
港湾土木工事	8	5	7	6	26
空港等土木工事				3	3
港湾等しゅんせつ工事					
空港等舗装工事		1	2	1	3
港湾鋼構造物工事			1	1	2
合計(件数)	24	432	12	16	484
割合	5.0%	89.3%	2.5%	3.3%	100%
	94.2%		5.8%		

※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

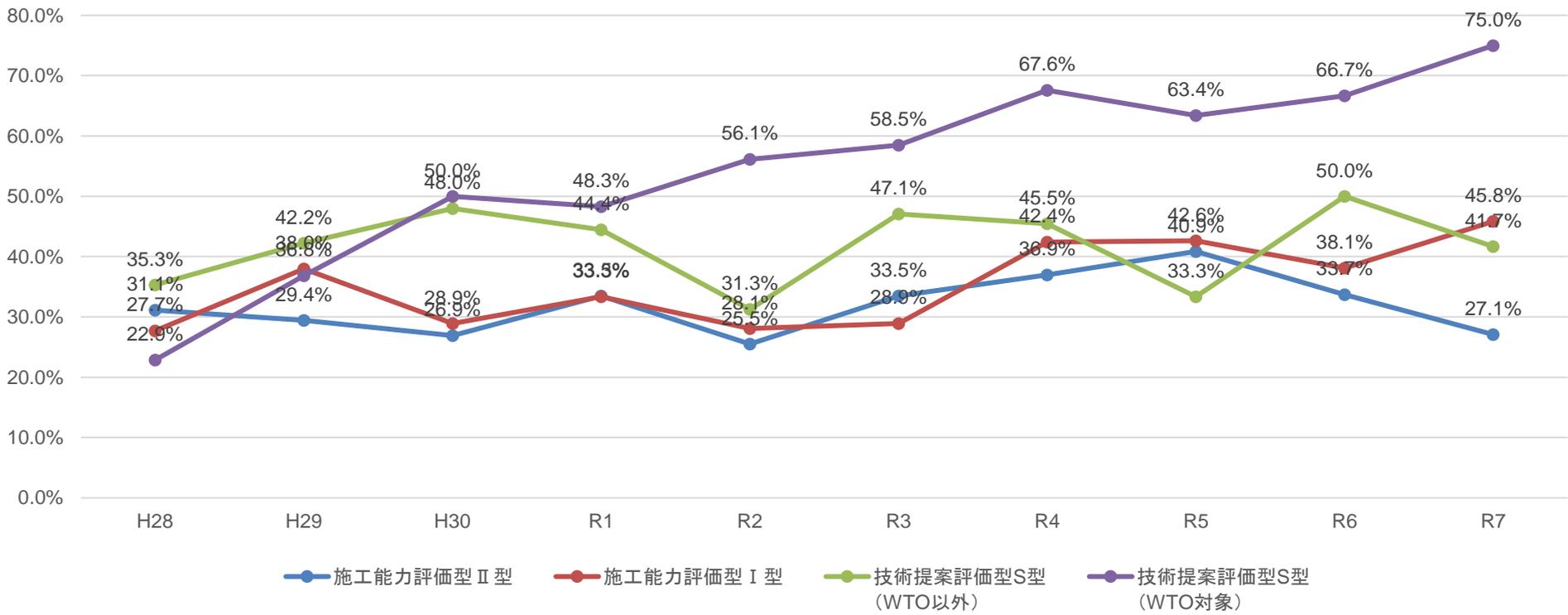
## 2. ④落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

(R7. 12月末現在)



- 技術提案評価型S型(WTO対象)は上昇傾向。
- 技術提案評価型S型(WTO以外)は30%~50%のレンジで変動を繰り返している。
- 施工能力評価型I型はR4から40%前後で推移。
- 施工能力評価型II型はR4から20%~40%のレンジで変動を繰り返している。

最低価格者以外の落札状況の推移



※最低価格者以外の落札：落札者のうち、最低価格でなくても落札できた工事  
 ※一般競争を対象  
 ※250万円未満の工事を除く  
 ※対象の母数には1者応札案件を含む

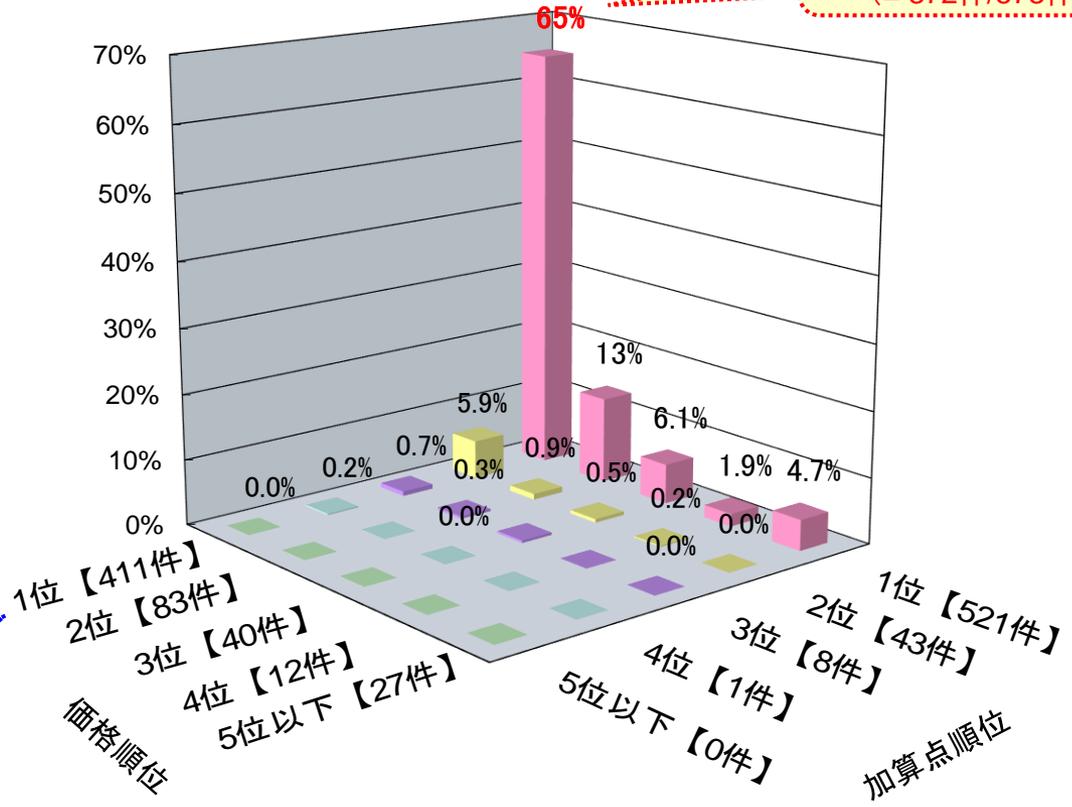
## 2. ⑤落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

- 加算点順位1位かつ価格順位1位の者による落札が全体の約65% (573件中372件)。
- 加算点1位の企業が落札者となる割合(約91%、521件)は、価格順位が1位の企業が落札者となる割合(約72%、411件)を上回っている。

【R7年度】(総合評価適用工事) [573件] (R7.12月末時点)

平均入札参加者数:3.5者

加算点1位・価格1位  
約65%  
(= 372件/573件)



価格順位1位  
約72%  
(= 411件/573件)

加算点1位  
約91%  
(= 521件/573件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象  
 ※ 250万円未満の工事を除く  
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

## 2. ⑥落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

(R7.12月末現在)

【R7年度】(施工能力評価型) [545件] (R7.12月末時点)

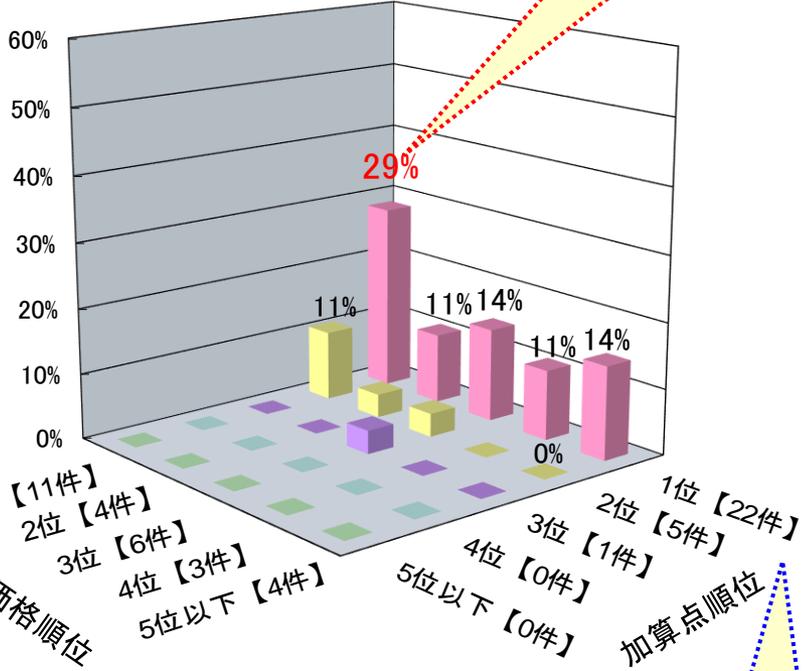
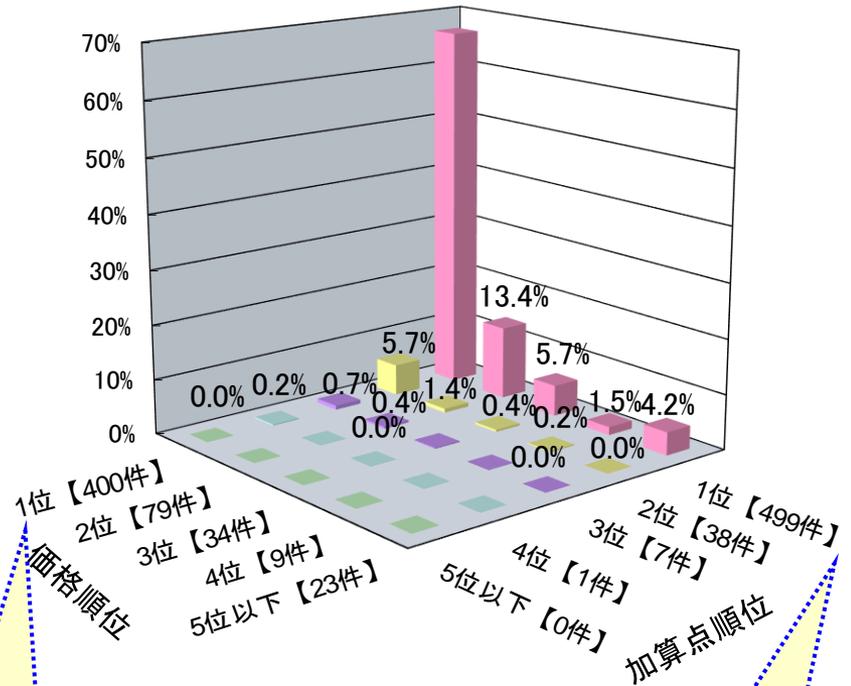
【R7年度】(技術提案評価型) [28件] (R7.12月末時点)

平均入札参加者数:3.4者

平均入札参加者数:5.8者

加算点1位・価格1位  
約67%  
(= 364件/545件)

加算点1位・価格1位  
約29%  
(= 8件/28件)



価格順位1位  
約73%  
(= 400件/ 545件)

加算点1位  
約92%  
(= 499件/ 545件)

価格順位1位  
約39%  
(= 11件/28件)

加算点1位  
約79%  
(= 22件/28件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象  
 ※ 250万円未満の工事を除く  
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

# 2. ⑦競争参加者の加点状況の分析

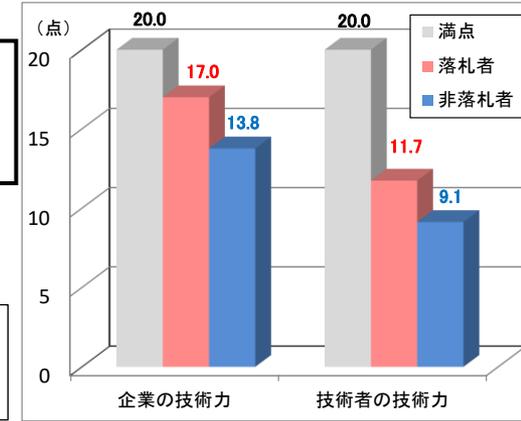
(R7. 12月末現在)

## 【施工能力評価型(標準タイプ) 一般土木工事】

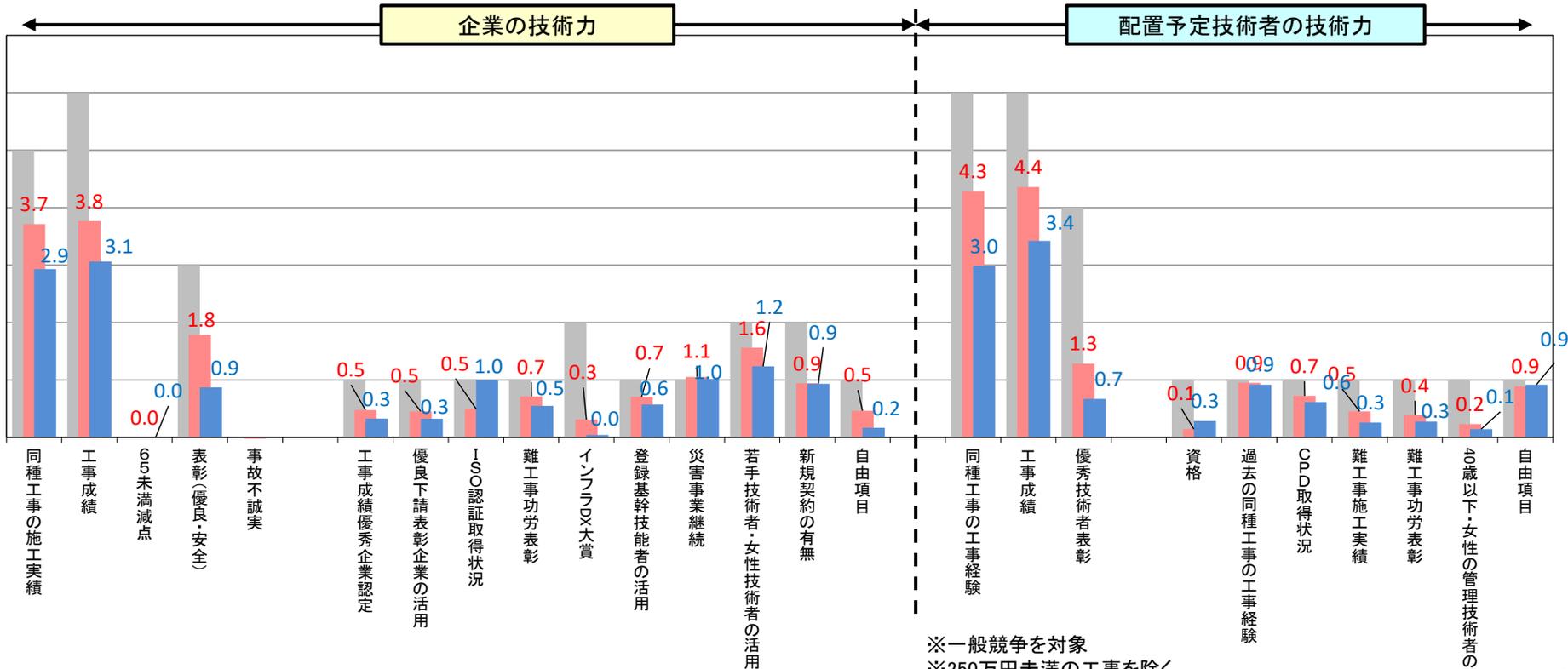
落札者(105者)と非落札者(424者)の違い

- 企業の技術力では、「同種工事の施工実績」「工事成績」「表彰」により差が顕著。
- 配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」「工事成績」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	26.9	21.9	5.0
企業の技術力	17.0	13.8	3.2
技術者の技術力	11.7	9.1	2.6



(点)



※一般競争を対象  
 ※250万円未満の工事を除く  
 ※1者応札の工事(1工事)を除く

(R7.12月末時点)

## 2. ⑧競争参加者の加点状況の分析

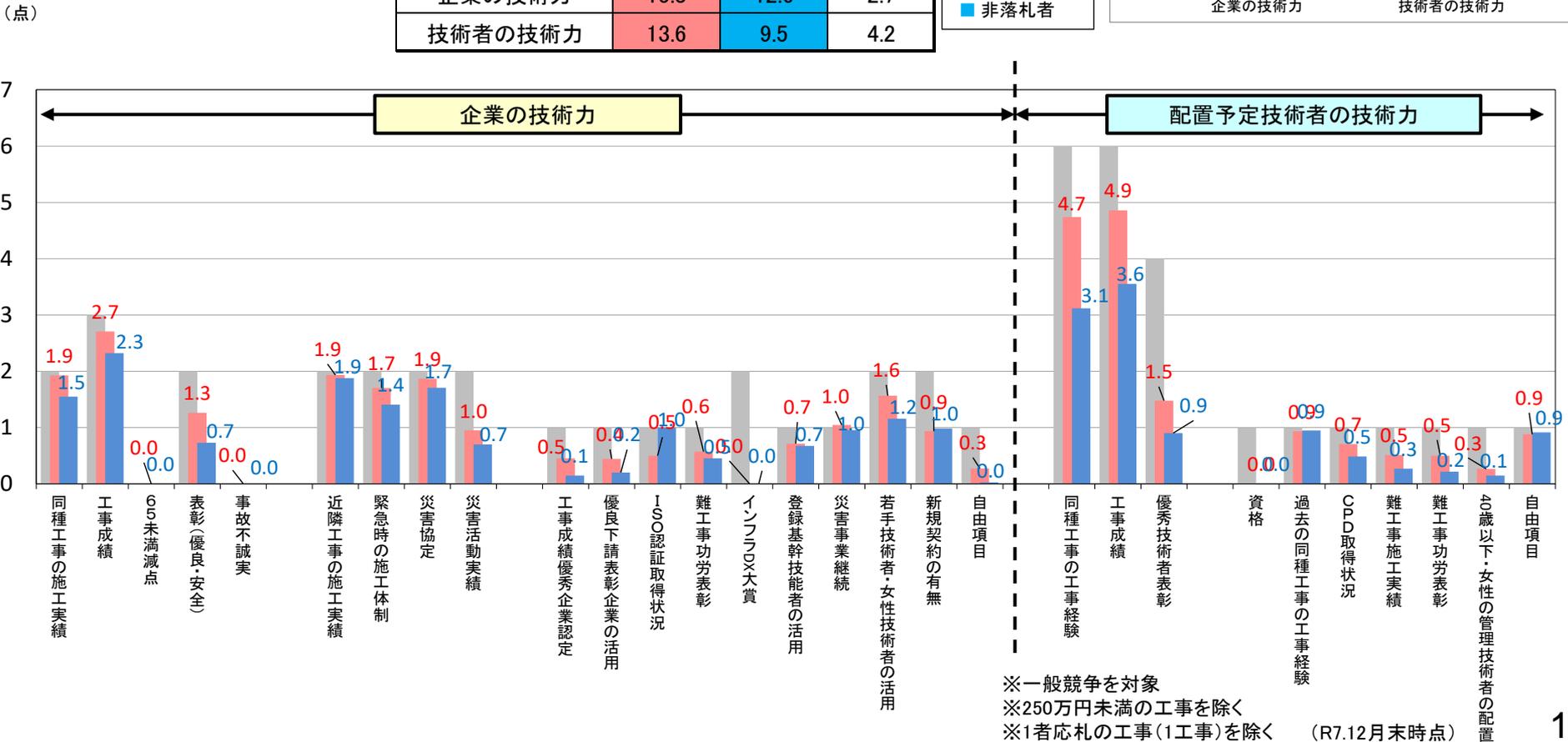
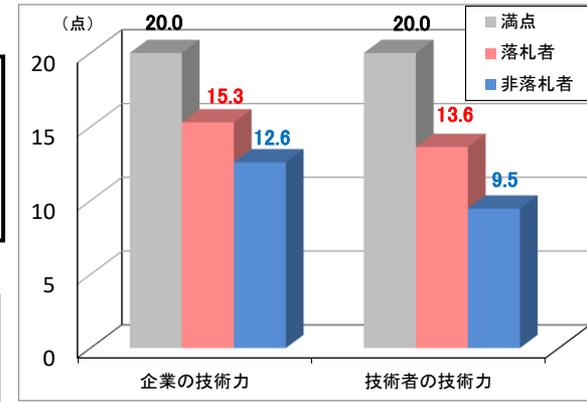
(R7. 12月末現在)

### 【施工能力評価型(地域密着工事型) 一般土木工事】

落札者(61者)と非落札者(372者)の違い

- 企業の技術力は、「緊急時の施工体制」や「災害活動実績」により差が顕著。
- 配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」、「工事成績」、「優秀技術者表彰」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	26.8	20.9	5.9
企業の技術力	15.3	12.6	2.7
技術者の技術力	13.6	9.5	4.2



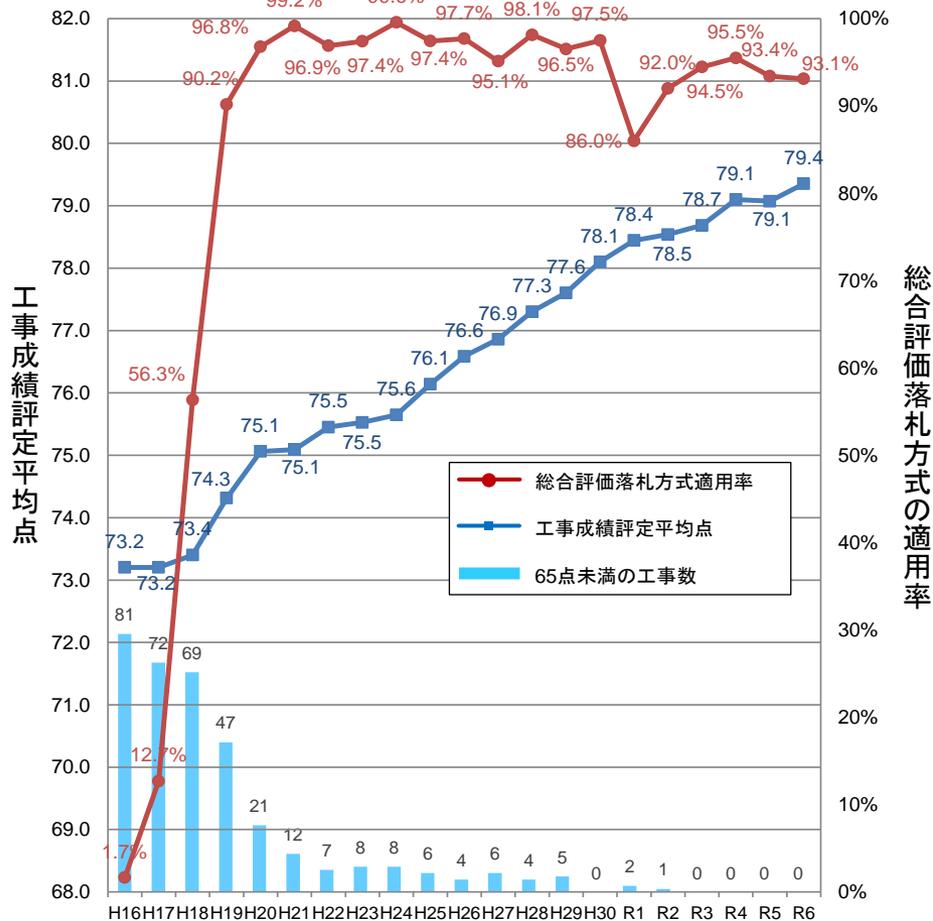
※一般競争を対象  
 ※250万円未満の工事を除く  
 ※1者応札の工事(1工事)を除く (R7.12月末時点)

## 2. ⑨工事成績評定の推移

○ 工事成績評定の平均点は年々上昇傾向にある。また、65点未満の工事数は近年0件。

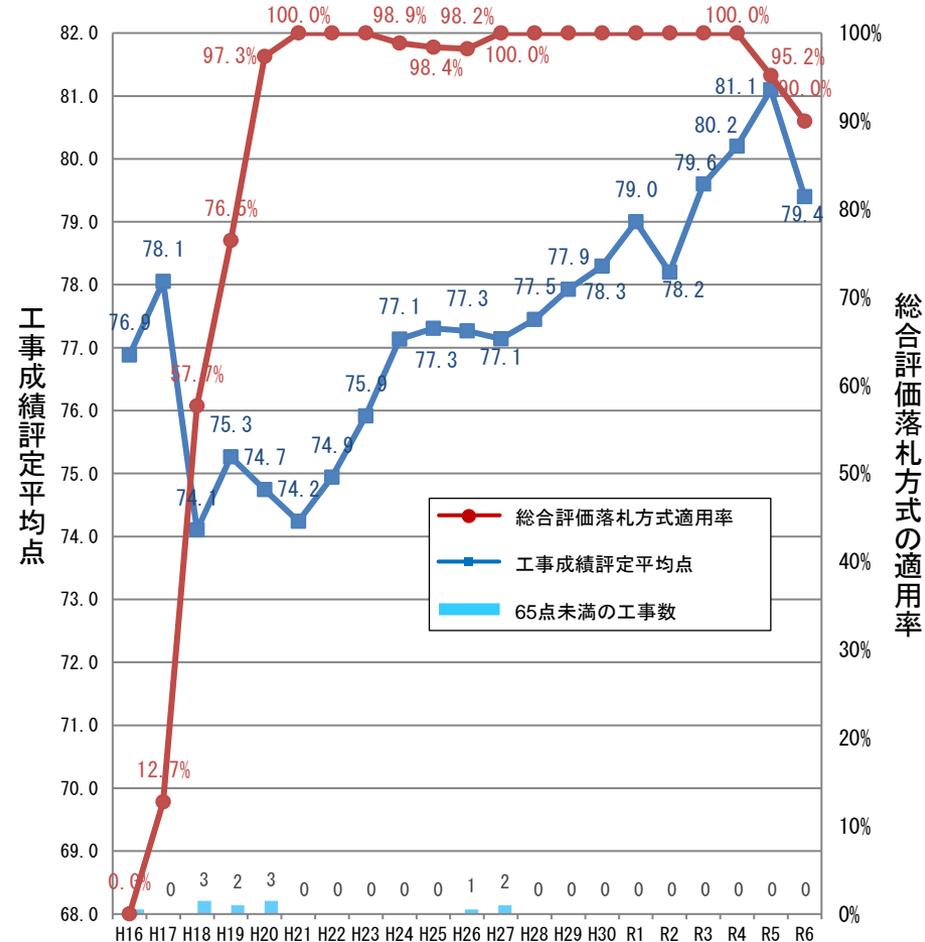
### 総合評価落札方式適用率と工事成績評定の経年変化(契約年度別集計)

#### 【河川、道路、営繕、公園関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象  
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象  
 ※250万円未満の工事を除く

#### 【港湾空港関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象  
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象  
 ※工事種別は港湾5工種を対象

## 2. ⑩多様な総合評価の取組結果(品質)

### 担い手の中長期的な育成・確保の促進に係る取組の工事成績評定

- 1) 各取組とも、施工能力評価型全体の平均点 79.5点(818件)と同程度で、完成した工事の品質は確保されている。
- 2) 今後も工事成績評定による品質確保に係る分析を継続。

取組内容	完成工事数 (R6年度)	工事成績評定の平均点 (R6年度完成工事)
若手技術者・女性技術者活用評価型 (平成25年度～) ※令和7年8月以降評価項目見直し	157件	79.9点
技術者育成型 (平成26年度～)	5件	78.6点
自治体実績チャレンジ型 (令和4年8月～) ※平成25年度～令和4年7月は自治体実績評価型	55件	79.7点
地域防災担い手確保型 (平成26年度～)	25件	80.1点
企業能力評価型 (令和5年度～)	31件	80.0点
企業実績評価型 (令和5年度～)	115件	78.7点

## <背景>

- 建設業団体との意見交換会において、熟練技術者の登用が加点される発注の検討について要望あり。
- 令和6年度総合評価審査委員会において、委員より意見あり。

## ○神奈川県建設業協会との意見交換会（令和7年11月27日（木））

### <要望内容>

総合評価においては、若手及び女性の登用が加点の対象となっていますが、これは採用に強い大手企業が優位となり、若手や女性だけでなく人材の確保自体が大きな課題となっている多くの中小建設業者にとっては、加点の仕組が立場をより厳しくしているという状況となっております。

一方、人材不足や就労環境が変化する中で、定年を迎えた高齢者の知識や経験を活用していくことが社会から求められています。

つきましては、大手企業と中小建設業に対するより公平な評価を行えるよう、若手や女性の登用と同様に**熟練高齢技術者の登用についても加点される発注の検討**をお願いいたします。

### <回答>

建設業における担い手の確保は喫緊の課題であり、若手技術者や女性技術者の登用を評価する方式が必要であると考えています。

一方で、新たな担い手の育成にあたっては、熟練の技術者による指導が必要不可欠であると認識しており、今後、**熟練の技術者の存在が評価されるような仕組みを調査**してまいります。

## ○令和6年度総合評価審査委員会（令和7年3月11日（火））

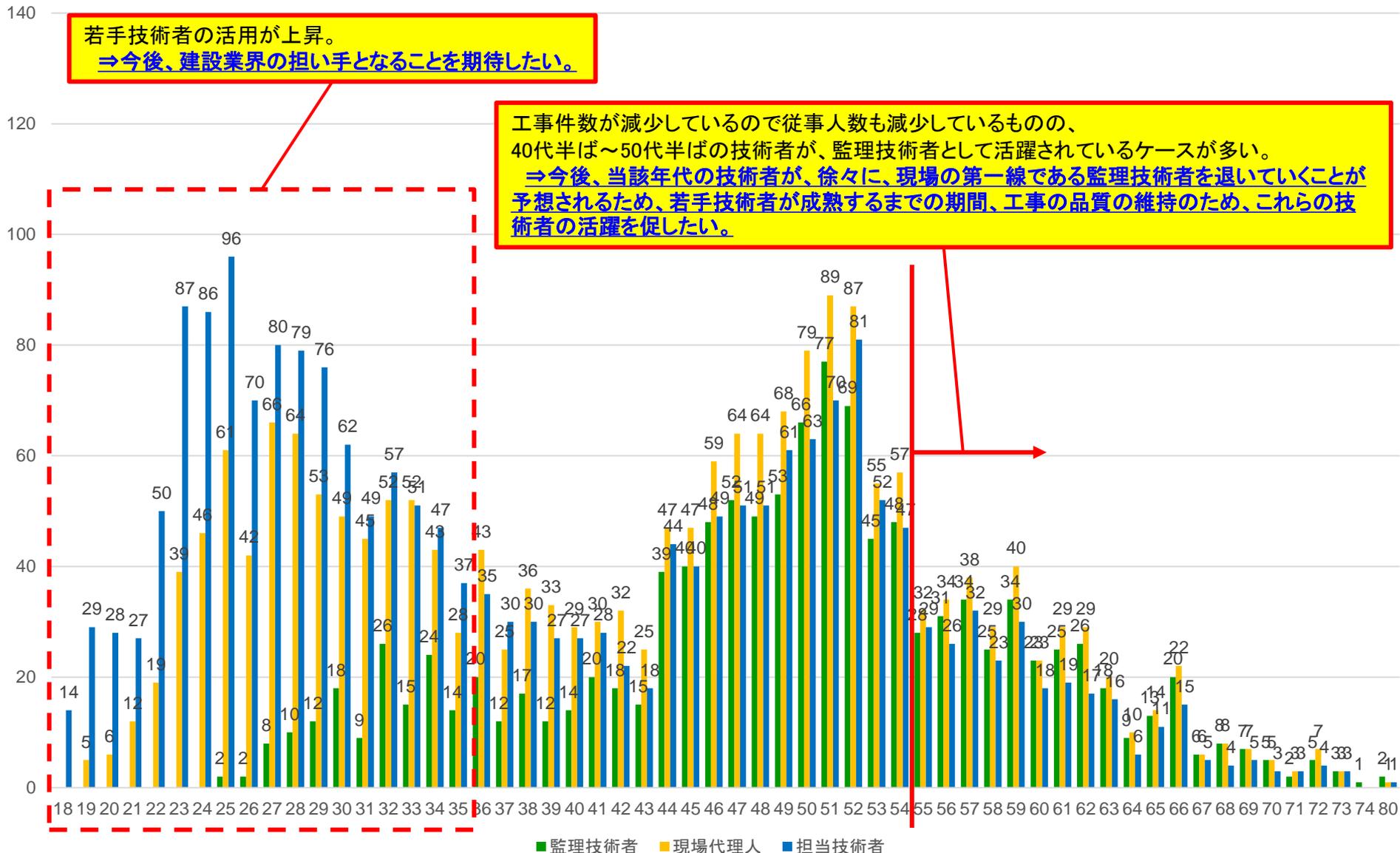
### <委員ご意見>

業界からの要望で熟練技術者への加点が挙がっていたかと思うが、若手女性技術者への評価と同じような発想で、定年を迎えた65歳以上70歳未満のシルバー人材の活用という趣旨で加点することは考えていないか。

### <回答>

ベテラン技術者はそもそもスキルや経験、成績を持っているので、工事の実績として評価するという対応を取っている。

【2024年度】監理技術者、現場代理人、ならびに担当技術者の従事人数（年齢別）



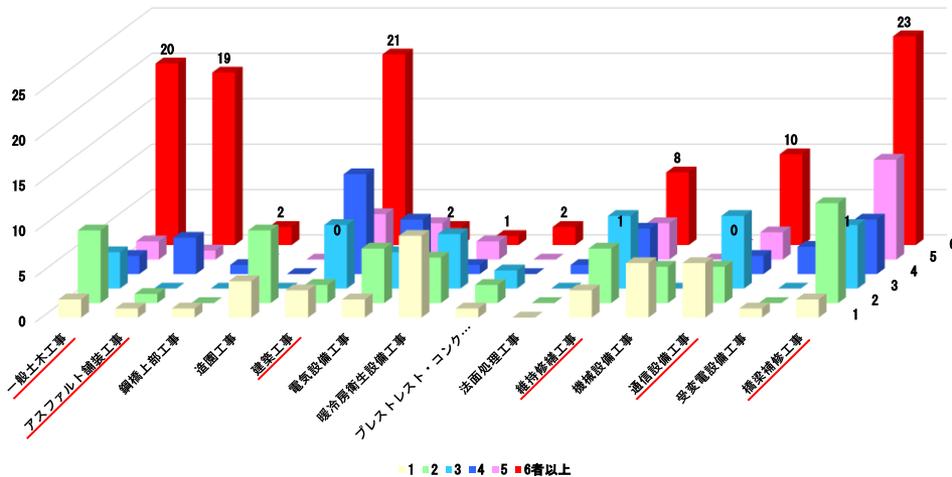
若手技術者の活用が上昇。  
⇒今後、建設業界の担い手となることを期待したい。

工事件数が減少しているため従事人数も減少しているものの、  
40代半ば～50代半ばの技術者が、監理技術者として活躍されているケースが多い。  
⇒今後、当該年代の技術者が、徐々に、現場の第一線である監理技術者を退いていくことが  
予想されるため、若手技術者が成熟するまでの期間、工事の品質の維持のため、これらの技  
術者の活躍を促したい。

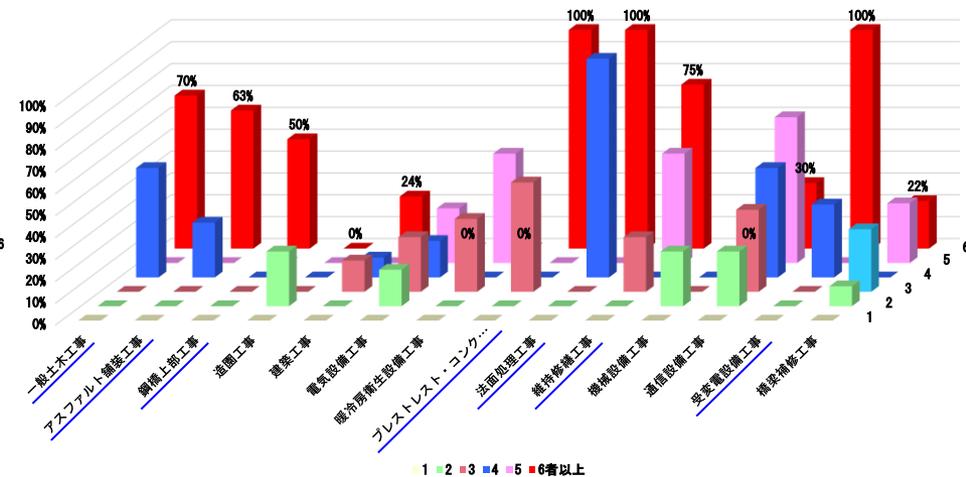
### ＜企業実績評価型の運用状況＞

- ① 工種別、参加表明者数別の契約件数を、運用を開始した令和5年度から集計したところ、「一般土木」「As舗装」「建築」「維持修繕」「通信設備」「橋梁補修」で、参加表明者が6者以上となった件数が多い状況であった。
- ② 参加表明者の総合評価加算点が同一となったケース（割合）を、運用を開始した令和5年度から集計したところ、「一般土木」「As舗装」「鋼橋上部」「PC」「法面処理」「維持修繕」「受変電設備」で、同点一位の割合が高い状況であった。

① 工種別、参加表明者別契約件数



② 工種別、参加表明者別同点一位案件割合





# i-Construction2.0、ICT施工Stage II等の推進

## 1) 取組事例、試行効果を水平展開し、新たな施工現場の創出

- 令和7年7月1日「i-construction2.0活用工事成績評価要領」を策定し、活用工事は成績評定で評価することとした。
- 策定以降、i-Construction2.0及びICT施工Stage IIの取組は増加傾向が見られる。

i-Construction2.0活用工事成績評価要領を策定  
～工事における先進的施工の取り組みについて評価する～

i-Construction2.0における「施工のオートメーション化」の普及促進を目的として、関東地方整備局発注工事において、事前に対象技術の使用予定を報告し、実際に活用した場合には、工事成績評定時に評価する。

### 1. 対象技術

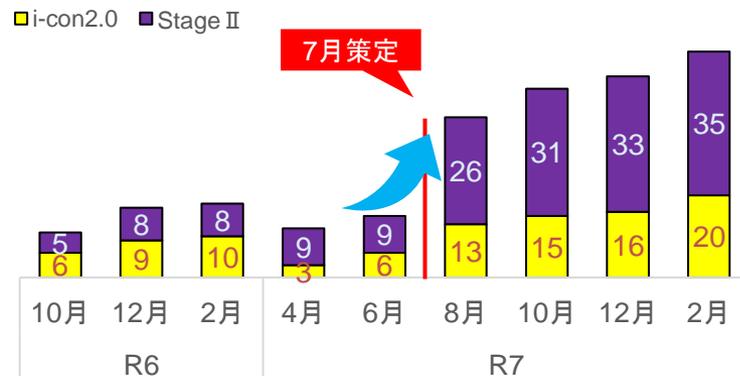
i-Con2.0における「遠隔施工・自動施工」及び「ICT施工Stage II」対象技術

### 2. 評価措置の内容

上記対象技術を実施した場合、工事成績評定時に評価措置を行う。

※記者発表: 令和7年7月1日

i-Con2.0・Stage II 月別実施件数



様々なデータ(測量点群・3D設計・オルソ画像・平面図など)を取り込み現場をデジタル化

- 施工から管理までを一元管理
- 進捗の把握をクラウド上で確認

「ICT施工Stage II」

# i-Construction2.0、ICT施工Stage II等の推進

i-Construction2.0  
ICT施工Stage II

20工事  
35工事

R8.2時点

## i-Construction2.0

～建設現場のオートメーション化～

- ① 施工のオートメーション化
- ② データ連係のオートメーション化
- ③ 施工管理のオートメーション化

遠隔施工を用いた  
建設現場の効率化・安全化



日光 砂防	R6馬返崩壊地対策工事	中村土建(株)
	R6ワミ沢山腹工擁壁工事	(株)佐藤組

江戸川	R7三郷・吉川河川維持工事	金杉建設(株)
-----	---------------	---------

霞ヶ浦 導水	R5霞ヶ浦導水石岡トンネル(第3工区)新設工事	㈱安藤・間
-----------	-------------------------	-------

常陸	R4那珂川左岸小場地区周囲堤築堤工事	清水建設(株)
----	--------------------	---------

鬼怒川ダム	R7川治ダム他土砂掘削工事	那須土木(株)
-------	---------------	---------

久慈川 緊急	R5久慈川右岸頃藤北地区整備工事	東亜建設工業(株)
	R5久慈川右岸本米崎地先樋管改築工事	樋口土木(株)
	R6久慈川常陸大宮周辺整備工事	㈱高野工務店
	R6久慈川土砂改良(その2)工事	松崎建設(株)
	R5久慈川左岸堅磐地区境樋管改築工事	㈱加藤建設
	R6久慈川左岸堅磐地先築堤工事	五洋建設(株)
	R6久慈川左岸小貫北地先樋管新設工事	㈱奥村組
	R5久慈川右岸高渡地区整備工事	㈱森本組
	R6久慈川右岸岩崎地先河道掘削工事	高橋建設工業(株)
	R6久慈川左岸小貫地先河道掘削工事	樋口土木(株)
	R6久慈川左岸小貫南地先排水樋管新設工事	東康建設工業(株)
	R5久慈川右岸舟生地先堤防整備工事	サコー建設(株)

常総 国道	R5東関道清水地区改良工事	大日本土木(株)
	R5東関道清水石神地区改良工事	㈱森本組
	R5東関道築地地区改良工事	東急建設(株)

霞ヶ浦	R7甘田入第13地区基盤整備工事	水郷建設(株)
-----	------------------	---------

荒川 下流	R5荒川下流左岸川口地区 高規格堤防工事	㈱浅沼組
----------	-------------------------	------

川崎 国道	R5国道246号厚木秦野道路 伊勢原第一トンネル工事	㈱安藤・間
----------	-------------------------------	-------

運行管理システムを用いた  
現場管理の効率化



- ① 施工段取りの最適化
- ② ボトルネックの把握・改善
- ③ 進捗状況等の把握による予実管理
- ④ その他(注意喚起、教育等)

ICT施工Stage II  
～現場全体の効率化～